
学力調査結果分析について

— 2025年度版 —

目次

1. 本校の結果及び傾向
2. 学校課題「考えを形成する力」に関する結果及び傾向
3. 本校の強み・課題・対策

昨年度の分析結果から明らかになった課題

国語	算数	理科
① 叙述を基にした読み ② 考えの形成	① 図形の特徴の活用 ② 思考の過程の言語化 ③ データの分析	① 生物・天体分野の理解 ② 思考の過程の言語化

1. 本校の結果及び傾向(6年 国語)

赤字: 本校研究
赤囲み: 昨年度の課題
と関連する部分

分類	区分	本年度				比較		
		本校	市	県	国	本校一 市	本校一 県	本校一 全国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	73	76.7	75.9	76.9	-3.7	-2.9	-3.9
	(2) 情報の扱い方に関する事項	64	62.4	62	63.1	1.6	2	0.9
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	80.9	82.1	80.8	81.2	-1.2	0.1	-0.3
	A 話すこと・聞くこと	71.2	67	64.9	66.3	4.2	6.3	4.9
	B 書くこと	74.9	70	69.6	69.5	4.9	5.3	5.4
	C 読むこと	59.3	58.6	57.5	57.5	0.7	1.8	1.8
観点	知識・技能	72.8	74.5	73.7	74.5	-1.7	-0.9	-1.7
	思考・判断・表現	67.5	64.6	63.3	63.8	2.9	4.2	3.7

1. 本校の結果及び傾向(6年 算数)

赤字: 本校研究
赤囲み: 昨年度の課題
と関連する部分

分類	区分	本年度				比較		
		本校	市	県	国	本校一 市	本校一 県	本校一 全国
領域	A 数と計算	67.1	63.6	62	62.3	3.5	5.1	4.8
	B 図形	61.2	60.4	57.2	56.2	0.8	4	5
	C 測定	56.2	56.9	54.4	54.8	-0.7	1.8	1.4
	C 変化と関係	59.9	58.6	55.9	57.5	1.3	4	2.4
	D データの活用	67.6	64.4	62	62.6	3.2	5.6	5
観点	知識・技能	70.8	68.3	66	65.5	2.5	4.8	5.3
	思考・判断・表現	51.8	50.4	47.7	48.3	1.4	4.1	3.5

1. 本校の結果及び傾向(6年 理科)

赤字: 本校研究
赤囲み: 昨年度の課題
と関連する部分

分類	区分	本年度				比較		
		本校	市	県	国	本校一 市	本校一 県	本校一 全国
領域	「エネルギー」を柱とする領域	52.8	48.6	47.9	46.7	4.2	4.9	6.1
	「粒子」を柱とする領域	59	52.8	52.2	51.4	6.2	6.8	7.6
	「生命」を柱とする領域	57.3	55.5	54.3	52	1.8	3	5.3
	「地球」を柱とする領域	75.1	67.9	67.4	66.7	7.2	7.7	8.4
観点	知識・技能	62.2	57.5	57.2	55.3	4.7	5	6.9
	思考・判断・表現	64.3	60.4	59.3	58.7	3.9	5	5.6

1. 本校の結果及び傾向(5年 国語)

赤字: 本校研究
赤囲み: 昨年度の課題
と関連する部分

分類	区分	本年度			比較	
		本校	市	県	本校一市	本校一県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	69.5	64.7	64.1	4.8	5.4
	情報の扱い方に関する事項	0	0	0	0	0
	我が国の言語文化に関する事項	87.1	83.1	81.9	4	5.2
	話すこと・聞くこと	84.4	83.3	83.4	1.1	1
	書くこと	62.7	42.8	48.2	19.9	14.5
	読むこと	71.2	66.1	65.1	5.1	6.1
観点	知識・技能	71.3	66.5	65.9	4.8	5.4
	思考・判断・表現	72.4	64.6	65.5	7.8	6.9

1. 本校の結果及び傾向(5年 算数)

赤字: 本校研究
赤囲み: 昨年度の課題
と関連する部分

分類	区分	本年度			比較	
		本校	市	県	本校一市	本校一県
領域等	数と計算	72	63	63.3	9	8.7
	図形	72.7	69.2	68.3	3.5	4.4
	変化と関係	61.2	54.8	55	6.4	6.2
	データの活用	84.1	73.1	72.3	11	11.8
観点	知識・技能	70.8	62.3	62.1	8.5	8.7
	思考・判断・表現	76.1	68.7	68.7	7.4	7.4

赤字: 本校研究
赤囲み: 昨年度の課題
と関連する部分

1. 本校の結果及び傾向(5年 理科)

分類	区分	本年度			比較	
		本校	市	県	本校一市	本校一県
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	67.7	64.3	63.2	3.4	4.5
	「粒子」を柱とする領域	61.3	55.4	55.1	5.9	6.2
	「生命」を柱とする領域	85.7	80.1	79.3	5.6	6.4
	「地球」を柱とする領域	59.1	56.4	55.8	2.7	3.3
観点	知識・技能	71.2	66	65.3	5.2	5.9
	思考・判断・表現	61.7	57.9	57.4	3.8	4.3

1. 本校の結果及び傾向(4年 国語)

赤字: 本校研究
赤囲み: 昨年度の課題
と関連する部分

分類	区分	本年度			比較	
		本校	市	県	本校一市	本校一県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	83.5	78.6	76.9	4.9	6.6
	情報の扱い方に関する事項	73.3	72.2	73.1	1.1	0.2
	我が国の言語文化に関する事項	0	0	0	0	0
	話すこと・聞くこと	86.1	81	81.1	5.1	5
	書くこと	55.5	47.2	52.8	8.3	2.7
	読むこと	63.8	60.5	59.3	3.3	4.5
観点	知識・技能	82.4	78	76.5	4.4	5.9
	思考・判断・表現	67.3	62.3	63.1	5	4.2

1. 本校の結果及び傾向(4年 算数)

赤字: 本校研究
赤囲み: 昨年度の課題
と関連する部分

分類	区分	本年度			比較	
		本校	市	県	本校一市	本校一県
領域等	数と計算	63.5	57.4	56.9	6.1	6.6
	図形	69.5	58.7	60.1	10.8	9.4
	測定	52.6	48.1	45.7	4.5	6.9
	データの活用	60.1	54.9	54.3	5.2	5.8
観点	知識・技能	63	56.6	56.2	6.4	6.8
	思考・判断・表現	61.1	54.5	53.8	6.6	7.3

1. 本校の結果及び傾向(4年 理科)

赤字: 本校研究
赤囲み: 昨年度の課題
と関連する部分

分類	区分	本年度			比較	
		本校	市	県	本校一市	本校一県
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	76.7	71.4	69.1	5.3	7.6
	「粒子」を柱とする領域	61.9	59.3	58.3	2.6	3.6
	「生命」を柱とする領域	79.4	74.5	73.8	4.9	5.6
	「地球」を柱とする領域	78.2	72	70.1	6.2	8.1
観点	知識・技能	78.4	72.5	70.9	5.9	7.5
	思考・判断・表現	72.8	68.8	67.1	4	5.7

昨年度の課題の変容(国語)

本校一県平均(ポイント)

6年生児童	R6	R7
書く	3.9	5.4
読む	3.6	1.8
思考・判断・表現	2.2	4.2
5年生児童	R6	R7
書く	1.5	14.5
読む	4.1	6.1
思考・判断・表現	3.1	6.9

【書く領域】**拡大**
【読む領域】**縮小**
【思・判・表】**拡大**

【書く領域】**拡大**
【読む領域】**拡大**
【思・判・表】**拡大**

昨年度の課題の変容(算数)

本校一県平均(ポイント)

6年生児童	R6	R7
図形	3.7	1.8
データ	4.9	5.6
思考・判断・表現	4.2	4.1
5年生児童	R6	R7
図形	5.2	4.4
データ	4.8	11.8
思考・判断・表現	6.1	7.4

【図形 領域】縮小
【データ 領域】**拡大**
【思・判・表】同程度

【図形 領域】縮小
【データ 領域】**拡大**
【思・判・表】**拡大**

昨年度の課題の変容(理科)

本校一県平均(ポイント)

6年生児童	R6	R7
生命	3.8	3.0
地球	4.9	8.4
思考・判断・表現	6.1	5.0
5年生児童	R6	R7
生命	4.1	6.4
地球	4.9	3.3
思考・判断・表現	3.7	4.3

【生命 領域】縮小
【地球 領域】**拡大**
【思・判・表】縮小

【生命 領域】**拡大**
【地球 領域】縮小
【思・判・表】**拡大**

昨年度の分析結果から明らかになった課題

国語	算数	理科
① 叙述を基にした読み ② 考えの形成 赤字：今年度、明らかな改善傾向が見られた部分。	① 図形の特徴の活用 ② 思考の過程の言語化 ③ データの分析	① 生物・天体分野の理解 ② 思考の過程の言語化

2. 学校課題「考えを形成する力」に関する結果及び傾向

「書く」領域

6年生児童	R6	R7
本校一県平均	3.9	5.4
無回答率(%)	18.9	0
5年生児童	R6	R7
県平均との比較	1.5	14.5
無回答率(%)	8.9	10.6

問題形式・順序の違いもあるが、正答率の県平均との差は3.9ポイント⇒5.4ポイントに拡大し、無回答率は0%になった。

正答率の県平均との差は1.5ポイント⇒14.5ポイントに拡大し、無回答率は1.7ポイント上昇した。※市・県の無回答率は20%を超えている。

3. 各教科担当者が考えた強み・課題・対策

	国語	算数	理科
強み	書くことにおいて、条件に基づいて、自分の考えを書くことができています。	2次元の表から情報を正しく読み取ることができる。	- 授業や実験に対して意欲的に取り組むことで、理科の重要語句や実験結果について正しく理解することができている。 - 実験で得られた結果を正しく理解し、自分の言葉で的確に表すことができています。
課題	- 読むことにおいて、必要な情報やキーワードを見付けながら読み取ったり、叙述から人物の気持ちを読み取ったりすることに課題が見られる。 - 話すこと・聞くことにおいて、話し手の工夫を捉えることに課題が見られる。	- 図形の特徴を捉え、活用することに課題が見られる。 - 言葉や式を使って、求め方や違いを説明することに課題が見られる。	- 知識を活用して考える力、問題解決につなげる発想力、それを表現する力に課題も見られる。 - 与えられた情報や知識を単独に捉えるのではなく、複数の要素を比較したり、関係性を見出したりすることに課題が見られる。
対策	- 大事な語句やキーワードなどに印を付けながら読むことで、<u>目的意識をはっきりさせて読む</u>ようにする。 - 話合いの機会を意図的に設定し、<u>表現の工夫を考える機会</u>を増やす。	- 作図したり、面積などを求めたりするときに既習の<u>図形の特徴と関連させながら指導</u>していく。 - 学んだことを活用し、求め方を自分の言葉や式を使って<u>説明する活動</u>を設ける。	- 学んだことや考えたことを、口頭や文章などで積極的に<u>表現する活動</u>を意図的に取り入れる。 - 複数の現象について、共通点と相違点を挙げさせ、分類させたり、授業で学んだ内容について、キーワード同士を線で結び、関係性を視覚的に<u>表現させる活動</u>を取り入れる。

まとめ

①本校児童の学力は、全教科全観点において市・県・全国を上回っている。

※5ポイント以上上回っている部分 多数！

②昨年度の課題「考えを形成する力」に**改善傾向**が見られる。

③今後の課題は「算数：**図形** 理科：**生命・地球**」

「国語：情報を目的に応じて**読み取る力**」

「算数・理科：**思考を言語化**する力」

「知識を再生する力ではなく、**知識を活用する力**」の育成